KAKUDAI

噴霧ポンプ ユニット

576-200

取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

このたびは、噴霧ポンプユニットをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意　取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- 必ず実行していただく「強制」を表します。
- 気をつけていただきたい「注意」を表します。
- してはいけない「禁止」を表し ます。
- 分解しないでください。

- ●モーターの開口部に指や物を入れないでください。感電、けが、火災などのおそれがあります。
- ●電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、はさみこんだりしないでください。感電のおそれがあります。
- ●モーターに水や薬液をかけないでください。感電や火災のおそれがあります。

- ●使用用途は、専用ノズルによる噴霧、機器の洗浄、テスタを用いての耐圧検査に限られます。使用用途範囲を逸脱しての使用が原因での事故、許可なく改造および分解を行い、それに伴って生じた事故に関しては、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●機械を他人に貸すとき、運転させるときは、事前に運転の仕方を教え、機械に貼ってある警告ラベルも一枚ずつ説明してください。機械と一緒に説明書をよく読んで理解し取扱方法を体得してから作業するように指導してください。とくに禁止事項については念を入れて説明してください。

- ●本製品を改造・分解することは、安全で快適な作業に支障をきたすだけでなく、大変危険ですのでおやめください。

同梱内容・各部のなまえ

作業前

- ●電気配線には、油、水、火気は厳禁です。

- ●運搬時は機械が転倒しないような処置をしてください。
- ●点検・整備・清掃は平坦な場所で行ってください。
- ●各部のボルト・ナットのゆるみ、損傷はないか確認してください。
- ●電気配線のプラグは確実に接続し、運転中配線がこすれないようにしてください。

作業中

- ●作業中は人を近づけないようにしてください。
- ●作業中はモーターに水がかからないようにしてください。
- ●作業中はモーターが高温になりますので、手や体を触れないようご注意ください。
- ●異常が発生した場合はただちに作業を中止してください。
  感電、けが、火災などのおそれがあります。

- ●スイッチを入れる（ONする）前に、必ずカムハンドルを反時計まわりに止まる位置までまわして「始動」にしてください。ヒューズが切れることがあります。
- ●電源スイッチを「ON」にしても3秒以内に始動しない場合は、すぐにスイッチを「OFF」にして、裏面の『故障診断』を見て処置をしてから再度スイッチを入れてください。
- ●ヒューズ切れが発生した場合も裏面の『故障診断』を見て処置をしてからスイッチを入れてください。
- ●ヒューズ交換後にヒューズ切れを繰り返した場合もモーターが故障します。ヒューズ切れの原因を取除き、モーターが冷えるまで再始動をお待ちください。
- ●空運転（ポンプ内に水が無い状態での運転）は、ポンプの故障につながりますので30秒以内にしてください。

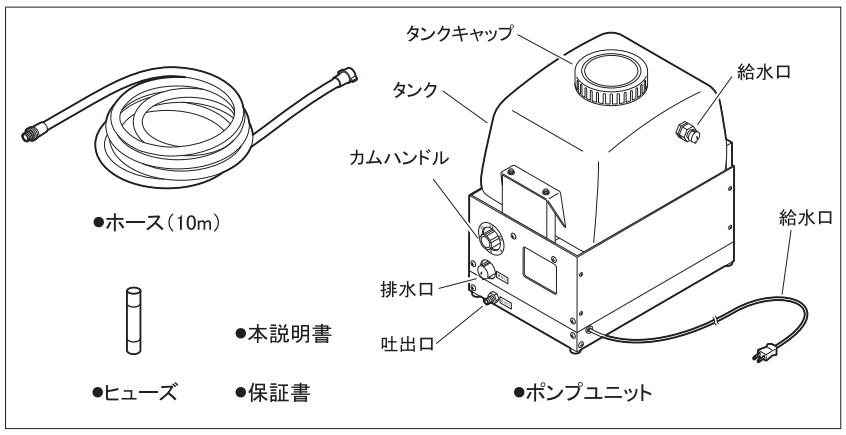
安全上のご注意（つづき）

作業後

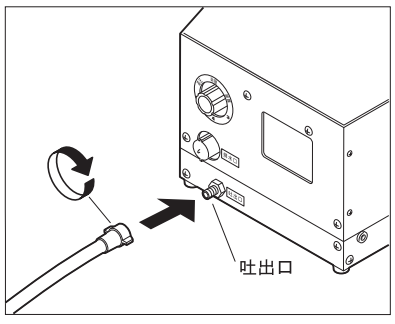
- ●保守・点検の場合モーターは高温になるので、素手で触らないでください。
- ●保管は湿気の少ない場所でチリやゴミが付着しないようにしてください。

- ●各部に水が入ったまま格納しますと、冬期凍結によりポンプを破損しますので下記の方法に従って、内部の水を完全に抜き取ります。
  ①ホースを外します。
  ②排水口のキャップを外します。
  ③本機を運転し、ポンプ内の水を抜きます。
  ポンプ、ホース内の残液の湿気によりモーターが錆び、動作不良となる場合があります。
- ●本製品および付属品の点検を行ったあと、外面をきれいにし、直射日光の当たらない湿気の少ない場所へ保管願います。
- ●シートをかけるときは、本製品が乾いてから行います。塗れたままだと腐食の原因となります。
- ●損傷箇所のある場合は、修理してから格納してください。

同梱内容・各部のなまえ

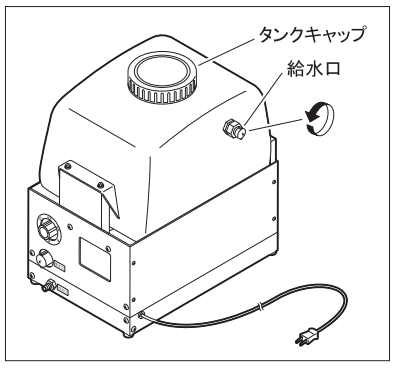


取付方法



①吐出口にホースを接続します。
取付けが不十分だと事故につながります。

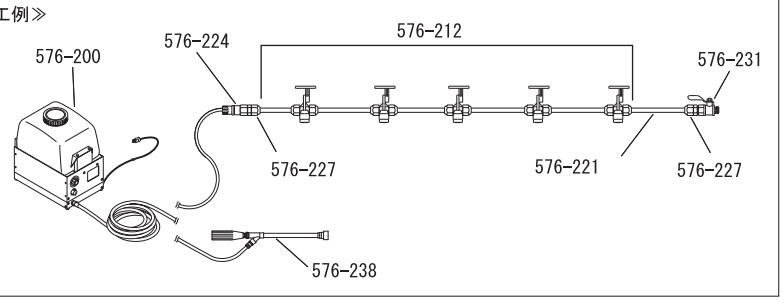
②ホース先端に噴霧ノズルキットや高圧洗浄ノズルを接続します。（施工例参照）



③給水口のキャップを取外すと、G1/2のネジが出てくるので給水配管と接続します。タンク内部にボールタップを内蔵しているので、タンク内の水位を一定に保つことができ、連続使用が可能です。

※水源が確保できない場所で使用する場合、タンクキャップを取外し、タンクに直接給水して使用することもできます。タンクの水位が低くなった場合は再度給水する必要があります。

≪施工例≫



使用方法

⚠モーターやコードの発熱、絶縁体の溶けの問題を未然に防ぐため、次の注意事項を必ず守って使用してください。
- ●電源は必ず100ボルトを使用してください。
- ●延長コード（コードリール）をご使用の場合、コードをリールからすべて引出し、 伸ばして使用してください。

裏面へ続く➡